

令和2年度第1回仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会（書面開催）概要

- 開催方法 新型コロナウイルス感染防止の観点から書面開催
- 開催時期 令和2年5月1日（金曜日）～令和2年5月20日（水曜日）
- 委員 島田委員長、青木副委員長、小川委員、加藤委員、金委員、白石委員、鈴木委員
- 議事 令和元年度区民協働まちづくり事業企画事業の事後評価

【議事概要】

令和元年度企画事業実施団体からの区民協働まちづくり事業（企画事業）実績概要報告書に関し、区民協働まちづくり事業に関する要綱（平成14年3月25日市長決裁）に基づいた仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会を書面にて実施。評価委員会からの意見等については、各評価委員から提出された評価票をまとめ、各事業実施団体に通知。

【質疑応答】 [Q：質問 A：回答]

- 仙台市宮城地区市民文化祭実行委員会
- Q：宮城地区まつりと開催日は重なっているのか。実行委員の担い手不足、広報の協力等同日開催の利点を整理されると、相互に負担軽減できるのでないかと思うが、いかがか。
- A：地区まつりと開催日は重なっていない。同日開催については、何度か評価委員の方からもご提案いただいております。担い手不足の解消等確かに利点も少なからずあると感じている。しかし、以下の事情により具体的な検討には至っていない。

《市民文化祭側の懸念事項》

- ・市民文化祭では作品をじっくり鑑賞できる静かな環境が望ましいが、地区まつりと同日開催ではそのような環境の実現は困難であること。

《地区まつり側の懸念事項》

- ・地区まつりと広瀬市民センターまつりが例年同日開催であり、2階の各部屋はすべて市民センターまつりで使用しているため、3つの祭りを同日開催とするとスペースが不足すること。（地区まつりでは社協や保健センターといった近隣施設もすべて使用するため、まつりの規模縮小をしない限り空き部屋はない。）

- 仙台市ほたるの里づくり協議会

Q：各地区運営費は、実際どのような使われ方をしているのか。

A：令和元年度の各地区運営費は、主に次のようなものがある。

- (ア) ほたるの育成費、養殖費及び飼育費
 - (イ) ほたるの養殖所等の環境整備費、光熱費
 - (ウ) 各地区により異なるが、「ほたるまつり」を開催している地区
- ※まつり用のチラシ・ポスター代、資器材、事務用品、消耗品等々

- 西公園キャンドルライトファンタジー実行委員会

Q：実行委員会の体制は例年同様の構成で行っているのか。

A：そのとおりである。

- 宮城地区まつり実行委員会

Q：収入のチャリティ収入とは具体的にどのような収入か。

A：・もちつきチャリティ収入（116,575円）

仙台農協宮城支店さんが会場内をついたお餅を振舞う催事を実施。

お餅自体は無料だが、任意で募金箱にお金を入れていただいている。

農協には催事委託料をあらかじめ支払っているため、募金は全額実行委員会の収入としている。

・まつり応援募金収入（5,515円）

当日会場内に設置した募金箱による収入。

- 大倉ダムの魅力発信実行委員会

Q1：今年度はゴールデンウィークがコロナ感染拡大防止により緊急事態宣言中であったが、イベントはどのようなになったのか。

A1：今年度の「鯉のぼり×大倉ダム」は、令和2年9月20日（日）～令和2年9月22日（火・祝）に実施するとの事業計画書を団体より受け取っている。

Q2：鯉のぼりを描いた地域の小・中学生の反応や感想などは、届いているか。

A2：感想文などの形で受け取ってはいないが、当日は鯉のぼりを描いた子どもたちが多数会場に来て、自分の描いた鯉のぼりを嬉しそうに見ていた。また、オープニングセレモニーでは、作並小・上愛子小・大倉小から1名ずつ代表児童が挨拶をしてくれた。

- 仙台伝統ものづくり塾実行委員会

Q1：10. 今後の展開等にあるが、テーマに関連する団体などとのコラボレーションは積極的に行われることをお勧めする。目的に「地域で語り継ぐ」とあるが、その点はどのように自己評価しているか。

A1：本事業では、参加者がものづくりの体験を通して得た達成感や知識を、地域や職場で話題として取り上げ周知し、広がることを目的としている。

令和元年度「仙台みそお披露目会」は、平成30年度に実施した「仙台みそづくりとその歴史」で、仕込んだ仙台みその引き渡しも兼ねて実施したが、平成30年度参加者だけではなく、その参加体験を見聞きした方も来場するなど、ものづくりの体験を「地域で語り継ぐ」取り組みが図られていると考えている。

Q2：支出の部、報償費の講師謝礼1人8,000円は高いと思われる。改善できないか。

A2：仙台市で、外部講師を招いて研修を行う場合、講師謝礼基準として定める1時間あたりの謝礼額は民間企業等役員10,000円、管理職8,000円と定めている。ものづくり塾は、1回2時間程度の講座であり、実施前の打ち合わせを含め、1回8,000円であり妥当と考えられる。

- 八幡地区令和風土記作成委員会

Q：作成委員会はどのような進め方で行われたのか。

A：1年目に、風土記作成の目的や基本方針、作成計画の概要等を決定し、調査、資料収集、原稿依頼の作業を進め、2年目に、冊子の編集作業や校正作業等を行い、令和2年1月に風土記を発刊することができた。

- 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会

Q：上演講習会は、一般市民向けに行っても良いのではないか。

A：令和元年度は、青葉区版ではなく全市版の市政だよりに参加者募集の記事を掲載し、さらに保育園や学校等にもチラシを送付したことで、区内だけでなく市内の幅広い世代の方に興味を持っていただき、例年よりも参加者が多かった。体験後のアンケートでは、今後の上演会の鑑賞はもちろん、演者としても参加したいとの声が上がったため、引き続き興味を持っていただけるような活動をしていきたい。

【評価委員からの意見等（抜粋）】

① 仙台・作並回文の里づくり実行委員会

- ・小学生に作品募集をしたりして大変有意義な事業だと思う。広報にもう一工夫をして市内全域への広がりを期待する。
- ・回文コンテストやおみくじ、うちわなどの広報グッズのアイデアを活かした活動により、広く知られることになったのではないか。
- ・客観的な評価として、アンケートを実施してみたいかがか。今後の事業企画にも反映できると思う。
- ・これまでの作品を定期的に SNS（Twitter）で投稿するなどして回文に対する関心と作並地区のアピールをしてみたいかがか。
- ・回文おみくじの仕上がりがよく驚きました。回文うちわに実用性があり、また掲載内容も分かりやすく好評であったことがよく分かる。9.課題等にあるように「外部の人の意見」や「諸団体とのつながり」をこれからも有効に活かして欲しいと思う。

② 仙台市宮城地区市民文化祭実行委員会

- ・特定の人だけの運営では継続は難しいと思う。助成を受ける中で区役所職員と話をしたこ

ともないというのは問題とを感じる。もっと積極的に支所へ相談に行ってはいかがか。

- ・文化の発展、地域の皆さんの活動活性化という点では評価できるが、支出の部分でどうしても内輪の人たち同士のものと思われがちで、公益性の面で低いのではとを感じる。各部門の予算立ても工夫が必要ではないか。
- ・貴団体と若い人を繋ぐパイプ役が必要と思われる。
- ・本文にもあった通り、区の担当者が文化祭に足を運んでみるなどの工夫が必要と思う。(会場使用に関するアドバイス、各種情報提供など)
- ・経費節約等工夫して取り組まれた点、感謝する。実行委員の皆さんは、ご苦勞ありながらも楽しみながら準備なさっている様子が目に浮かぶ。実行委員の担い手不足、広報の協力等地区まつりとの同日開催の利点を整理されると、相互にご負担が軽減できるのではないか。

③ 仙台市ほたるの里づくり協議会

- ・自然環境に対する理解を深めるために大変素晴らしい事業だと思う。多団体が関わることで事業が広がることを期待している。広報にもう一工夫をしてほしい。
- ・多くの地域の方を巻き込み、年間を通して活動が活発でしっかりした取り組みだったのでとを感じる。予算、実績管理も分かりやすい。環境を地域で守る活動は、継続できる仕組みが大切と思う。
- ・今後の事業展開ではホテル関係者団体以外の関係性を築き、異なった団体からの意見をもたうことも検討してみたいかがか。(ホテル×何か新しいもの)。
- ・各地区との交流が盛んな様子で良いと思う。

④ 西公園キャンドルライトファンタジー実行委員会

- ・学生サークル等、多団体が参加することで事業が広がりを見せ、継続されていくことを願っている。近隣の小学校でも参加することを楽しみにしている。
- ・西公園という仙台でも広く立派な地域の資源をしっかりと広報して、イベント化するという取り組みは素晴らしいと思う。今後も継続のための努力を期待する。
- ・学生から新しい企画を提案させてみてはいかがか。若い人の視点からネットワークを活用すると何か生まれるのではないか。
- ・西公園を活用したイベントは他にも区の助成をしているものがあるため、それらのイベントとの相互連携ができると良いと思う。

⑤ 宮城地区まつり実行委員会

- ・宮城地区が一体となつてのまつりは素晴らしいと思う。限られたスペースと人員の事業であるが、様々な工夫が活かされていると感じる。飲食のできるテーブルを増やしたことは皆に喜ばれている。ただ、駐車スペースには難があるように感じる。

- ・参加人数も多く、にぎわいを創り出すおまつりの存在は、地域の方々の楽しみや、交流の一助となっていると感じる。区との連携や負担の多さを考えると、より多くの参加者に実施側にも回ってもらう努力もあると良いと思う。
- ・今後の事業目標に「行きたい」から「参加したい」になるよう目指すとあるが、もうひとつ「関わりたい」と思うような参加者への対応策を考えてみてはいかがか。
- ・「行きたい」と「参加したい」のフレーズ、良いと思う。

⑥ 大倉ダムの魅力発信実行委員会

- ・地域資源を活かしての事業は素晴らしいと思う。ドローンでの動画作成は期待できるのではないかな。広報活動を展開して、人がもっと集まることを期待する。
- ・大倉ダム周辺の活性化に一役買っている様子は、とても素晴らしいと思う。季節を感じられる地域の行事として、多くの実施協力者を募っていることも評価できる点と思う。
- ・今後も、事業の安全管理に留意してほしい。
- ・作並地区との連携による回遊性向上も検討してみてはいかがか。

⑦ 青葉区民まつり実行委員会

- ・区民に広く親しまれている事業で大変素晴らしいと思う。大事業のため、多種多様な団体が参加し、まとめるのは難しいと思うが、今後共ぜひ事業を継続して行ってほしいと思う。
- ・規模が大きすぎることもあり、区や行政がメインで実施をしている印象がある。学生ボランティアの活用など、工夫は感じられるが、より市民主導での開催に期待したいと思う。
(ボランティアはあくまで主催者側ではなくお手伝いとする。)
- ・事業のコンセプトはとても良いと思う。しかし、実行委員や運営メンバーの主体的な運営力が弱いと感じる。積極的に大学や専門学校に参加の呼びかけを継続的に行ってはどうか。
- ・区民まつりは既に定着しているイベントなので、市民が参画してイベントを作り上げることは良いと思う。イベントに参画した市民のロコミやSNSによる発信によって、まつりの注目を上げることができると思う。

⑧ 仙台伝統ものづくり塾実行委員会

- ・伝統的なものを残し、後世に伝えていくことは素晴らしいと思う。広報を工夫して参加者がもっと増えることを期待している。
- ・市民センターが主催の一講座と何が違うのかが、あまり差別化されていない印象を受ける。アイデアを市民が出すことは素晴らしいが、市民の主体性が感じられないように思う。
- ・今後も様々な仙台の伝統的ものづくりを発掘、発信して市民等に関心を持ってもらえるようにしてほしい。

- ・10. 今後の展開等にあるが、テーマに関連する団体などとのコラボレーションは積極的に行われることをお勧めする。

⑨ 八幡地区令和風土記作成委員会

- ・地域のことを見つめ直し、整理して深く知ることで、今後の地域活動に大いにプラスになると思う。風土記は地域の指針になると思うため、作成団体が増えることを願っている。
- ・事業継続や拡がりを考慮し、冊子販売収入に依存せず市の支出を最大限活用して電子化してはいかがか。
- ・冊子を作ることに注力せず、広く支援や活動を知ってもらうためのアイデアがあると良いと思う。
- ・風土記の作成が目的ではなく、今後のまちづくりに役立てることに期待する。
- ・地域の結束と融合が図られたとのこと、大きな成果ではないか。

⑩ 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会

- ・紙芝居は小さい子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる素晴らしい事業だと思う。広報に工夫を加えてもっともっと市民に周知されることを願っている。
- ・目的達成のためには、YouTube を活用した展開など検討するべきではないか。
- ・他団体と連携して発表の機会を作ったり、紙芝居体験のために講座を実施したりと、工夫している部分もあるが、全体的な予算や上演の参加者数のカウントが大まかで内容が不明な点が多いと感じる。紙芝居実施のために食糧費やクリーニング代の支出は必要か。金額もかかりすぎている印象になっている。仙台の歴史や民話を伝えたい思いだけではなく、受け手についての感想や参加者層などデータがあれば良いと思う。
- ・今後の活動（事業）を継続するためにも後継者づくりが大切と考える。大学生、特に教育系の学生に積極的に声掛けしてみたい。関係者からの誘いは効果があると思う。